

平成 30 年度「政策研究会」実施概要

『小さいからこそできることがある!!
村内施設の効果的な運営を視野に入れた交流人口拡大を考える
～葛尾村から魅力を発信～』



【政策研究会のココに着目！】

- 精鋭講師陣と少人数参加者による密度の濃い学び
- 現状・現場に基づく実践的な研究活動
- 民間人の視点も入れたより広い視野の形成及び多様なコミュニケーション機会
- 宿泊型集中ワークショップにより深まる議論と仲間との絆
- フィールド自治体幹部の前で直接プレゼン。優れた提言は事業化につながり高いモチベーション

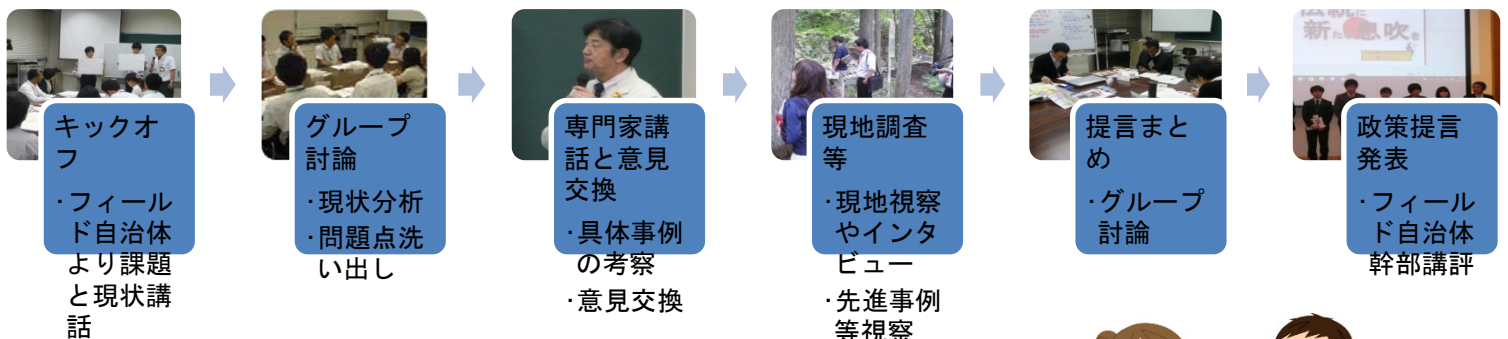


【平成 30 年度活動の試み】

- 調査研究テーマは、フィールド自治体のリアルな課題とし、解決策を提案
- 1 グループは原則 6 名以内。自治体職員だけでなくテーマに関連する民間団体等からも参画して、多様なメンバーにより広い視点と実効性を高める
- フィールド自治体の次年度事業化を見据えたスケジュールで活動
- 研究会は月 1 回程度（1 回当たり半日または 1 日）にてフィールド自治体での出張開催やセンター宿泊での集中ワークショップを実施
- フィールド自治体の現地調査だけでなく、必要に応じて先進地視察も可能



【政策提言までの主な流れ】



【フィールド自治体の課題背景と研究成果の期待】

調査研究フィールドとなる葛尾村は、ご存知のとおり、東日本大震災に伴う原子力発電所事故により全村避難を余儀なくされ、平成28年6月の避難指示解除（一部地域を除く）によって、ようやく復興へ向けてスタート地点に立ったところです。震災前は約1,400人いた人口は現在220人程度にまで減り、帰村率は、16.6%となっています。

村は帰還環境を整えるため、これまでハード整備を中心に公共施設の修繕や新たな交流施設の建設等、精力的に取り組んできました。

今後は、それらの施設や従来からある地域の豊富な資源を生かして住民の帰還を促進するとともに、ソトから人を呼び込み交流人口等の拡大を図っていくことが重要と考えています。

そこで、本研究会は葛尾村を調査研究モデルとし、現状・現場を調査し、よそ者の視点も取り入れながら、村の地域資源の魅力を高め、交流人口等拡大に資する施策を研究し、提言をまとめます。

この調査研究を通して、『小さい』単位を強みとして、限られた予算の中で持続的な取り組みを重ね、住民一人ひとりが輝けるまちづくりを模索していくことを目指します。

参加する研究員の皆さんには、葛尾村同様に少人数の自治体、或いは規模の大きな自治体の方部・支部単位等における交流人口の拡大や地域活性化へも応用できるヒントが得られることを期待しています。



【政策研究会の参加にあたって】

- 活動は原則として勤務時間内に行います。ただし、現地調査或いは先進地視察等は、視察先の都合等により異なることもあります。
- 研究会への参加費は不要です。ただし、開催場所或いは視察先までの旅費等については、所属団体における公務出張扱いとしてください。センターへの宿泊を伴う場合は、当センターが実施する研修への出席と同様の扱いとなります。
- 当研究会は、テーマに関する業務の担当者にこだわりません。政策研究や当該テーマ等に関心を持ち、主体的に活動する意欲ある職員の参加を期待しています。

現状を知る、現場を視る
(問題点明確化)
(5月～6月)

第1回 キックオフ研究会 5月15日(火) 12:50～16:00

開催場所：葛尾村役場

講話講師：葛尾村長（または副村長）

演題「葛尾村の全村避難と復興への道」

基調講演：指出一正氏 月刊「ソトコト」編集長

演題：「小さくてもできることがある！新しいつながりをつくる関係人口（仮）」

- <内容>
- ・オープニングガイダンス、顔合わせ
 - ・フィールド自治体の首長より直接現状と課題を伺う
 - ・有識者による基調講演と質疑応答

第2回 現地視察、インタビュー 6月4日(月) 10:00～16:00

集合場所：葛尾村役場

- <内容>
- ・現地調査（復興交流館、せせらぎ荘ほか）
 - ・現地の実践者等インタビュー（仮）（一財）葛力創造舎 下枝浩徳氏ほか
 - ・グループワーク

調べる考える
(方向性検討)
(6～9月)

第3回 実践者講話及び意見交換 6月29日(金) 11:00～17:00

開催場所：自治研修センター

地方における交流、ローカルビジネス実践者から具体的な取組みを伺う

講師：(株) sonraku (旧 村楽エナジー (株)) 井筒 耕平氏

(株) WAKUWAKU やまのうち 岡 嘉紀氏

- <内容>
- ・講話及び意見交換により、具体事例における成功ポイントや課題を学ぶ

第4回 (7月中旬～下旬) 先進地視察、GW

開催場所：(研究員の要望に応じて県内外可) 先進地等

- <内容>
- ・現地調査、実践者インタビュー

第5回 (8月9日～10日または27日～28日) 1泊2日集中GW

開催場所：自治研修センター（現地宿泊施設での開催及び研究員の要望に沿った講話も検討）

- <内容>
- ・現地調査、先進地調査結果の共有
 - ・グループごとの意見交換、提言の方向性中間発表

まとめる
(提言書作成)
(9～10月)

第6回 (9月上旬) 研究員GW

開催場所：自治研修センター

- <内容>
- ・提言まとめに向けてグループ討論、提言書素案作成

第7回 (10月中旬) 研究員GW

開催場所：自治研修センター

- <内容>
- ・提言まとめに向けてグループ討論、提言書仕上げ

提言する
(提言書提出、発表)
(11月)

10月末 提言書を葛尾村へ提出

報告会 (11月上中旬)

- <内容>
- ・研究成果の報告会、葛尾村幹部職員等による講評